

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和6年度技術情報第3号（カンキツのチャノキイロアザミウマ）について（送付）

下記のとおり取りまとめましたので、周知及びご指導をよろしくお願いたします。
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。



令和6年度技術情報第3号

有効積算温度によるカンキツのチャノキイロアザミウマ第2世代の成虫の発生ピークの予測は、平年に比べ7～11日早く、発生が早い地域では5月上旬に予想される。

- 1 対象病害虫 チャノキイロアザミウマ
- 2 対象作物 カンキツ
- 3 情報の内容
 - (1) 発生地域 県本土
 - (2) 発生時期 平年比：早い

4 防除上注意すべき事項

- (1) 第2世代以降の加害が被害につながるため、薬剤防除は第2世代以降の成虫発生ピーク日の10日前から同ピーク日までに行う（表1）。なお、薬剤は各地域の栽培暦や鹿児島県ホームページ掲載の適用農薬一覧を参照する（表2、右図）。
- (2) 例年被害の多いほ場では発生に注意し、防除適期を逸さないよう適切な防除に努める。



適用農薬一覧

5 参考データ

表1 成虫の発生ピーク予測日（令和6年4月22日予測）

世代	阿久根		さつま柏原		川内		東市来		鹿児島		加世田	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	4/18	4/29	4/21	5/3	4/15	4/30	4/14	4/25	4/5	4/16	4/7	4/20
2	5/23	5/30	5/25	6/3	5/20	5/31	5/20	5/27	5/8	5/17	5/12	5/23

世代	志布志		鹿屋		肝付前田		枕崎		指宿		内之浦	
	本年	平年										
1	4/13	4/24	4/11	4/24	4/11	4/23	4/6	4/18	4/6	4/19	4/7	4/20
2	5/18	5/27	5/16	5/26	5/15	5/25	5/11	5/21	5/11	5/21	5/13	5/24

注1) 予測は、(社)日本植物防疫協会のJPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションversion2により行った。
2) 有効積算温度予測に用いた気温は、アメダスの観測値で1月1日を起算日とし、令和6年4月22日以降は平年値を使用した。
3) 平年は、平成26年～令和5年の10年間の平均。

表2 各地域の栽培暦から抜粋した薬剤の一例（令和6年4月23日時点）

薬剤名	I R A C コード	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
アグリメック	6	1000～2000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内
コテツフロアブル	13	2000～6000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内
スピノエースフロアブル	5	4000～6000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	2回以内
トランスフォームフロアブル	4C	1000～2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内
ハチハチフロアブル	21A	1000～2000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内

注) 農薬の使用にあたっては、使用前に必ずラベルの表示を確認してください。